

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護度が進みユニット毎の外出が難しい状況になっている為自立度の高い入居者も玄関先や園周辺のみ気分転換が多くなっている。	レベル、体力、個性に合わせご家族の協力を得ながら少人数で外出し達成感の持てる環境の提供。	①ショッピングモールでの買い物。②初夏の山菜取り。③近所の喫茶店でお茶会等を通し合わせてご家族と共に過ごす時間も支援する。	1カ年
2		身体機能の低下や不安から介護依存度が高くなる面も見られる。	一定の期間、玄関を開放し外へ出て自由に自然に親しめる自立支援。	花壇の手入れ。日光浴。夕涼み。機構の良い時期を選び外で食事をするなど自然と親しみ「歩きたい、行きたい」など意欲を引き出す支援。	3カ月
3		特に女性入居者の骨密度の低下、身体機能の低下により転倒事故の発生が懸念される。	個々の身体機能を見極めながら筋力低下予防体操、歩行運動を充実していく。	①現在実施中の軽体操や歩行ソングの充実。 ②バランスのとれた食事の提供、日光浴、個々の身体機能に合わせた体操の継続。	1カ年
4		都市計画により周辺の道路や居住区の変更が継続しており再度近隣住人との協力体制の構築が必要である。	近隣住民との良好な関係の構築と協力体制の強化を図る。	①近隣住人への挨拶と説明を行い理解と協力を得る。 ②町内会活動への積極定期的な参加。 ③園の行事へ招待④地域運営推進会議への参加要請周辺が建築工事中であり新住民の生活の安定と合わせ継続する。	2カ年
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。